

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 尾関武弘
 幹事 伊豫田博明
 会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 42

意識を喚起し——進んで行動を

CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会

第905回 平成13年 6月19日(火)

講演 “新世代の経営と世代間共生”

東海学園大学経営学研究科 教授 奈倉道隆氏

(紹介 尾関君)

先週の記録

第904回 平成13年 6月12日(火)

晴

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員 70(62)名 出席 41名

出席率 66.13%

前々回 5月29日 (修正出席率) 98.33%

◆ビジター紹介

2名

◆ゲスト紹介

大同工業大学 講師

渡辺 博明氏

財団奨学生

馬場今日子さん

伊豫田幹事報告

1. 5月29日の例会終了時に、ロータリーの友、月信と共に次年度のロータリー手帳をお渡ししましたが数名の方が未だお持ちになっておりませんので、お忘れの方はお帰りにお持ち下さい。

田部井カウンセラーより財団奨学生紹介

和田年度に財団奨学生の申し込みを受け、何人かの中から馬場さんを推薦した結果、この度8月にカナダのトロント大学へ留学することになり、当時、幹事の私がカウンセラーを務めることになりました。地区では40数年、派遣をしており、毎年15人程度、マルチイヤー2年もありますが大体は1年留学が多く、馬場さんの場合は3年留学されますが、地区では初めてであり今後はしないとのことで最初で最後の3年間の奨学生となります。現在は名古屋大学大学院で応用言語学を学ばれ、更に研究を進められるということです。

留学2年目からは少し時間にも余裕が出来るらしく、カナダで旅行の際の案内を申し出てくれています。

出発までなるべく例会に出席して頂きますので、宜しくお願い致します。

財団奨学生 馬場今日子さん挨拶



はじめまして、馬場今日子と申します。私はこの度名古屋千種ロータリークラブから、マルチイヤー3年のロータリー奨学生としてカナダのトロント大学へ留学させていただけることになりました。大変ありがたく、また光栄に思います。

私は現在名古屋大学国際言語文化研究科の博士後期課程に在籍しています。今年の夏からそちらを休学して、トロント大学のOISEという研究所で博士号を取得するプログラムに入学します。博士号を取得するには短くて3年から4年かかるとされています。かなり不安ですが、自分にできるところまでやってみようと思っています。将来は日本に戻り、教職に就きたいと考えています。できればこの名古屋に戻って、就職できたらいいなと思います。

名古屋へは2年ほど前にやってきました。私は生まれも育ちも東京なので、よくどうして名古屋に来たのかと聞かれます。それは運命のようなものだったと思います。実は名古屋大学で自分のしたい研究ができるということと、他の場所へ行ってみたかったという理由以外、あまり正当な理由がありませんでした。やって来た時はそうやってかなり場当たりの来たのですが、今ではすっかり名古屋が好きになりました。うま

く具体的に説明できないのですが、名古屋はとても住み心地がいいです。まだ2年しか住んでいないので名古屋の本当にいいところを分かっていないとは思いますが、私から見ると名古屋は東京よりも土地に誇りを持って生活をしていらっしゃる方が多いように感じられます。それに、保守的なようでいて本当に価値のあるものは取り入れる姿勢も素晴らしいと思います。食べ物もとても美味しいです。今回この名古屋からトロントへ派遣していただけることになり、日本に戻った時にたとえば名古屋で就職できなくとも生涯にわたる名古屋とのつながりができたことをとても嬉しく思います。

さて私の研究についてですが、私は応用言語学の中の、第2言語習得を研究しています。第2言語習得では自分の母語ではない言葉を習得する過程はどうなっているのか、あるいはどうしたらうまく習得できるのかといったことを扱います。私は語彙に興味を持っているので、日本人の英語学習者は英語の語彙をどういう仕組みで頭の中から出すのだろうかということを研究しています。この分野には、頭の中で日本語の語彙を貯えている場所と英語の語彙を貯えている場所は同じなのか異なるのかとか、ある英語を話した時にどういう基準でその単語を選んでいるのかなど、まだ明らかにされていない興味深い問題がたくさんあってとても面白いです。そのようなことをトロントに行ってから研究しようと考えています。

最後に、私が今回いただくことになりましたロータリー奨学金について少しふれたいと思います。私をご説明するまでもありませんが、ロータリー奨学金が最も他の奨学金と異なる点は、留学の際に資金だけでなく、人的なサポートもいただけることです。こちらでは顧問ロータリアンの田部井様にすでに大変お世話になっていますが、トロントにもホスト・ロータリアンがいて、留学生活で困ったことがある時にご相談できると聞いています。これは留学された先輩方もとても有り難いことだったとおっしゃっていました。また、海外で勉強する際の奨学金はロータリー以外ですと1年か2年間のものが普通で、私が入るような3年間の奨学金というのはほとんど聞いたことがありません。しかもロータリー奨学生に選んでいただいた後知ったのですが、マルチヤー3年の奨学生は私が初めてで最後なのだそうです。私は自分の幸運に驚くと共に、トロントへ行った後、そして帰国した後にロータリー財団の高い理念に沿う働きができるよう努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

尾関会長挨拶

皆さん、こんにちは。先程ご紹介のありました馬場さん、3年間日本を離れ勉学に励まれますが、どうぞ健康

に留意され立派な成果を修められますよう心からお祈り申し上げます。さて今日はもうお一人GSEでスウェーデンに派遣された渡辺博明さんをご紹介させていただきます。GSEとはGroup Study Exchangeの頭文字を取った研究グループ交換で、ロータリー財団事業の1つとして1965年に始まった国際交流プログラムで、昨年の地区大会でスウェーデンの派遣生がスライドを使って国の紹介をしたりプレゼンテーションを行ったこと、皆さんご記憶かと存じますが逆のことを渡辺さんはじめ5名の方が約1ヶ月にわたりスウェーデンで行ってくれたわけです。先週土曜日ガバナー主催の帰国報告会がありスライドを見せて頂き感銘、感動を受けました。スウェーデン北部の人口のまばらな地区へ行かれたお話は後程伺えるかと思いますが、私が特に感銘を受けましたのは英語教育が小学生のうちから行われていて、3～4年生にもなると普通の会話がほとんど可能だと云い、英語教育に力を入れている点を伺うと印象的だったのは、900万人の人間が生きていく為には外国と取り引きするしかない、だから英語は必須だと云うのです。これからの日本もこういう事を考えなくてはと強く感じました。

さて、「濡れ落葉」と云う言葉があります。会社を定年になって一日中何をする事もなく雨に濡れた落葉のように奥さんのまわりにべたべたとまとわりつく男性のことです。定年後、意欲や理想を持ちつづける為にはどの様にしたらよいか。生きがいを持つことが最良の方法であると思います。それは仕事でも趣味でも何でもいいが、男性の場合は長い間働いてきた感覚から少しでも報酬を得られる仕事生きがいにつながり易いと思います。

江戸時代後期の浮世絵師 葛飾北斎は、美人画と役者絵に限られていた浮世絵の世界に風景画と云う新しい分野を拓き、連作「富嶽三十六景」46枚によってその名を不朽のものとししました。89才で死去する直前まで絵を描き続け、残した作品は3万点にも及ぶと云われています。北斎が当時として異例ともいえる長寿を全うした理由は一つしかないと思います。それは彼が絵の奥義を究める事に執念を燃やし続けた人であったと云うことです。殊に晩年の生きざまが素晴らしいと思います。放蕩無頼の徒となった長男に悩まされつづけ、寒中にも単衣一枚で過ごす云う過酷な生活の中で、安藤広重が「東海道五十三次」を出して江戸の人氣が傾きかけると、一念発起して烈々たる情熱をもって「富嶽百景」に向かって行きました。これは墨一色の絵本ですが、北斎芸術の総決算の作品と云われています。88才の時に描いた「絵本彩色通」では油絵具の製法等、西洋画への関心も強く、「百年の命を保ちて独立の志を成就せん事を思う」と壯者を凌ぐ意気を見せております。

北斎の様なすごい情熱には及ばないにしても、誰でも一つは現役でありつづける事の素晴らしさを実感できる何かを持ちつづけたいものだと思います。それがまた長寿にもつながっていくのではないかと思う訳であり

G・S・E帰国報告
大同工業大学 講師 渡辺 博明氏



このたび、スウェーデン北部R.I 2320地区でのG S E研修を終え、無事帰国いたしました。4月20日から5月20日までの1ヶ月間、最北の町、キルナを出発点に、イエリヴァレ、ヨックモック、ルレオ、シェレフトオ、ウメオ、アンショルズヴィーク、スンズヴァルと南下し、それぞれの地域を代表する企業、学校、教会などを見学するとともに、現地の人々との交流を通じて、当地の生活や文化にたっぷりと触れることができました。

中でも、大学教員である私としましては、やはりこの国の教育事情に強い関心がありました。この点、各地区のロータリアンの方々が配慮してくださったおかげで、滞在中に小学校から成人教育まで、数々の教育施設を視察でき、多くの教職員から話を聞くことができました。大学についても考えさせられることが多くありましたが、とりわけ、過疎と厳しい気候という不利な条件下にありながら、内陸部にも地方キャンパスが設けられ、時には最新の通信機器を使ってまで、高等教育の充実がはかられている点に感銘を受けました。仕事を持ちながら通う学生や、一旦社会に出てから目標を見つけて入学してくる学生も多く、「本当に学びたい人が学べる環境」を社会全体で保障しようという姿勢が感じられました。

また、一ヶ月のプログラムの中には、職業研修の他にも、鉄道での小旅行、ハイキング、音楽鑑賞などの企画が盛り込まれており、大いに楽しむことができました。さらに何と云っても、ホストファミリーの方々と過ごした時間は、忘れられない思い出です。

ふり返ると、本当に多くの人に出会い、多くのことを学んだ中身の濃い旅でした。このような貴重な機会を与えてくださいましたロータリークラブの皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

※この後スウェーデンで交換したバナー（13本）が会長に手渡されました。

◆卓話
"「80：20」の法則"

会員 永井 勝君



まず冒頭に皆さんを前にしての10分間の卓話のテーマがこんなに頭の痛い事になるとは夢にも思いませんでした。思いつくままに3年程前に読んだ本「80対20の法則」について簡単に触れてみたいと思います。世の中には数量化できないもの、データ化できないものが沢山ありますし、原因と結果・努力と報酬の間にはどうにもできない不均衡がある事に多くの方は気づいていることと思います。

一至るところに無駄、不均衡、非生産的なことが存在するからこそ希望が持て、この一つ一つの原因を突き止め、改善の余地を探し出し目指す方向を変える所から全ては始まる。分別ある者は、自分を世界に合わせようとする。分別が無い者は世界を自分に合わせようと躍起になる。故に分別が無い者がいなければ、進歩はありえない—という内容だったことを記憶しております。

要するに、世の中の不均衡という均衡に目を向けなさい・そして20%の部分を活用する手立てを探し出しなさい—という内容です。

- 本の趣旨に従い身近な例を80対20で分析してみますと
- *成し遂げる仕事の80%は、費やした時間の20%から生まれる。
- *売上の80%を占めているのは、20%の製品・20%の顧客。利益も然り。
- *家庭でカーペットの擦り切れる場所の80%は20%の部分に集中している。
- *人口と所得・資産総額に関する割合は、20%の人達に80%の資産が集中。
- *机の上の書類—20%の必要書類と80%の不要書類が山になっている。
- *同種の業界では、20%の企業が80%のシェアを占めている。

など挙げたらきりがありません。

凡人の私は、最小限の努力（20%に気づくこと）で最大の効果をあげる方法を見だし、これからの人生を少しでも楽できるようにと思っております。また千種ロータリークラブの栄えあるメンバーとして、優良20%組の中へ入れるように努力をする所存です。どうぞ指導の程宜しくお願い致します。

ニコボックス

[6/12分]

尾関 武弘

スウェーデン派遣のGSE研修生、渡辺博明さんをご紹介します。

田部井良和

本年ロータリー財団奨学生として留学します馬場さんを紹介いたします。

浅井 誠寿

神田の数そばにて、荒梅雨や、通し高音を曳きに曳き。

和田 正敏

池田さん、この間はありがとう。

足立 一成・青山 敏郎

藤田 千津子・二村 聡

萩原喜代子・林 哲央

伊原 正躬・池田 隆

池森 由幸・伊豫田 博明

小林 明・小坂井 盛雄

黒須 アイ子・牧野 登志子

松居 敬二・宮尾 絃司

水谷 祥督・森 幸一

永井 勝・佐久間 良治

佐野 寛・笹野 義理

鈴木 正男・鈴木 優次

竹内 眞三・谷口 英次

山田 壽勝・山本 玄

吉田 節美・吉田 玄

梅雨の晴れ間

合計

43,000円

[6/5分]

小林 明

日本生命東支社長、森岡文明君をご紹介します。

大口 弘和

卓話の講師として織部研究家の久野 治先生を紹介させていただきます。今回、環境保全推進功労者として県知事表彰されることになり、本日授賞式出席のため早退させていただきます。

黒須アイ子

5/31日本歯科保存学会、評議員会に出席しました。会場が横須賀でしたが、山手線のラッシュにぶつかり、初めて座席のない電車に乗りました。

小山 雅弘

先日の季楽会、うっかり忘れ遅刻しました。これで2回目です。

鈴木 理之

萩原さん、季楽会一年間ご苦労様でした。

山本 眞輔

6月6日より10日(日曜日)まで県美術館でNSG彫刻展を開催します。御高覧の程を。

萩原喜代子

5月31日の季楽会には多くの方に参加して頂きましてありがとうございます。お陰様でお役を終えさせていただきました。

皆様に深く感謝致します。

足立 一成・福井 章

伊原 正躬・池田 隆

池森 由幸・石黒 正則

伊藤 健文・伊豫田 博明

加藤 大豊・河村 政孝

菊池 昭元・小坂井 盛雄

松居 敬二・宮尾 絃司

水野 民也・森 幸一

中山 信夫・成田 良治

西川 豊長・西野 英樹

尾関 武弘・佐久間 良治

佐野 寛・笹野 義春

鈴木 正男・田部井 良治

竹内 眞三・舎人 経昭

和田 正敏・山田 壽勝

山本 英次・吉田 節美

吉田 玄

会長・幹事さん、あと1ヶ月ですネ!

浅井 誠寿・藤田千津子・三輪 康

会員誕生日祝い。

小杉 啓彰

ホームクラブ御無沙汰。

会員誕生日祝い。

魚津 常義

永い間、勝手に休ませて申し訳ありません。今日から又、宜しく願います。

会員誕生日祝い。

水野 賀續・鷺谷 龍男

夫人誕生日祝い。

牧野登志子

結婚記念日祝い

合計

103,000円

IM実行委員会 組織表

ガバナー補佐 ガバナー補佐幹事 ガバナー補佐幹事	水野 賀續 小山 雅弘 大口 弘和	IM年度会長 IM年度幹事	笹野 義春 佐久間良治	IM実行委員長 IM実行副委員長 顧問	和田 正敏 鷺谷 龍男 水野 民也
--------------------------------	-------------------------	------------------	----------------	---------------------------	-------------------------

役 割	準備委員	チーフ・サブチーフ	担当委員
企 画	式典	二村 聡	伊藤 正躬・吉田 玄
	懇親	萩原喜代子	加藤 大豊・小坂井盛雄・吉田 節美
	会場	池田 隆	神崎 住恵・成田 良治・山田 壽勝
	展示	田部井良和	深見 章・三輪 康・西川 豊長
総 務	自由散策マップ	伊原 正躬・池森 由幸	小林 明・舎人 経昭・山本 眞輔
	登記録	伊豫田博明・池森 由幸	石田 耕嗣・久保田 皓・鷺野 義明
	記録録	池田 隆	足立 一成・青山 敏郎・浅井 誠寿
	プログラム	和田 正敏	石黒 正則
運 営・ 会 場	会計	石黒 正則	二村 聡・伊豫田博明
	会計監査	久野 峯一	秋山 茂則・黒野 貞夫・佐野 寛
	懇親	宮尾 絃司	
	会場	二村 聡	伊藤 健文・水谷 祥督
受 付	会場	田部井良和	林 哲央・小杉 啓彰・中山 信夫
	展示	萩原喜代子	在田 忠之・河村 政孝・永井 勝・魚津 常義
	自由散策マップ	二村 聡	福井 章・森 幸一・谷口 優
	受付	池田 隆	堀江 宏輝・神谷 幹雄・三好 親
来 賓	来賓	池田 隆	牧野登志子・鈴木 理之
	進行(司会)	鷺谷 龍男	藤田千津子・松居 敬二・森岡 文明・西野 英樹
救 護	救護	鷺谷 龍男	黒須アイ子・大谷 和雄・鈴木 正男
	救護	和田 正敏	柵木 充明・竹内 眞三

IM実行準備委員 事務長：石黒 正則 二村 聡・萩原喜代子・池田 隆・田部井良和

現会長：尾関 武弘 現幹事：伊豫田博明

※7月より準備委員は実行委員とします。

◆次回例会(6月26日)

最終懇親例会(第2回ワイワイ例会) 於：松楓閣 18時